

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立西小学校

1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

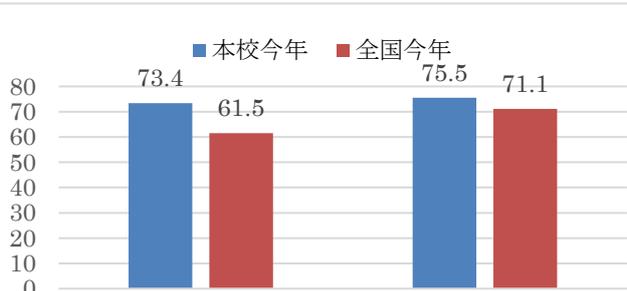
- ・対全国比の平均正答率は、国語・算数とも概ね良好な結果でした。対全国比の無解答率も全国的に低く、最後まで粘り強く問題に取り組もうとする姿勢が見られました。
- ・国語の「話すこと・聞くこと」に関する設問において、良好な結果でした。「書くこと」、「読むこと」には課題が見られました。
- ・算数では、「数と計算」、「図形」、「変化と関係」、「データの活用」のすべての領域で良好な結果でした。

2. 各教科における成果と課題について

	成果	課題
国語	<ul style="list-style-type: none">・「話すこと・聞くこと」に関する設問では、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや、自分が聞きたいことの中心を捉えることができていました。どの教科においても話し合い活動を取り入れた成果が表れています。・記述式の設問では、目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができていました。授業の中で、相手の考えを聞きながら、自分の考えをより良くしてきた活動の成果が表れています。	<ul style="list-style-type: none">・「書くこと」に関する設問では、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書く力に課題が見られました。図表やグラフなどのいろいろな資料の中から自分の考えを書く活動の充実を進めてまいります。・「読むこと」に関する設問では、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題が見られました。資料から正確に情報を読み取ることができるように取り組んでいきます。
算数	<ul style="list-style-type: none">・「数と計算」では、2位数の乗法の計算や、小数の加法や乗法を用いて求め方と答えを式や言葉で記述する問題において良好な結果でした。具体的な場面に適用し、数量を適切に処理することの指導を継続してきた成果が表れています。・「図形」では、基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や計量について考察することができていました。・「データの活用」では、日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができていました。学習活動において、実際の生活場面の問題を設定し、表やグラフなどの図を工夫して取り入れてきたことで成果が表れています。	<ul style="list-style-type: none">・数量の関係に着目して、問題場面を解釈し、数学的に表現・処理をしたり、計算に関して成り立つ性質を基に計算を考えたりすることに、課題が見られました。授業の中で、実際に物の数を数えたり、見やすく並べ替えたりする等、具体物を使って作業する活動を多く取り入れていきます。・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを理解する問題に課題が見られました。知りたい数量の大きさの求め方と答えを、図や式・言葉を用いながら考えを交流する場の充実を図ることで、確かな意味理解につながるよう取り組んでいきます。

3. 児童質問紙調査の結果の概要について(肯定的評価の割合)

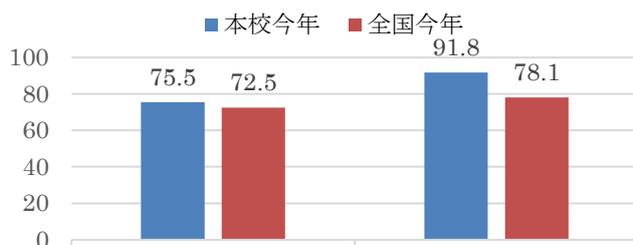
<取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について>



国語の勉強は好きですか。

国語の授業で、書いた文章の感想や意見を友達と伝え合い、自分の文章の良いところを見付けている。

本校の研究テーマ「学び合う子どもの姿をめざして～根拠をもって、思いや考えを書く力を育てる～」の実現に向けた授業づくりの成果が表れています。校内研究を国語科中心で取り組み、ペアやグループで考えや意見を共有し、自分の考えや思いを振り返ることでよりよい文章を書けるように今後も進めてまいります。



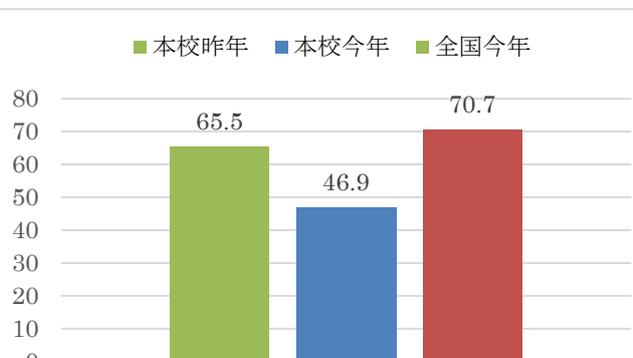
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい

日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい

教科担任制による外国語の授業で、いろいろな外国語の紹介が行われたり、外国語を使ってコミュニケーションをすることで、より外国に対して興味をもつ子が多くなっている成果として表れています。

また、在日外国人教育や国際理解への教育を進めていくことで、互いを認め合い、支え合う温かな人間関係を築き、適切に行動する力をもっと高めてまいります。

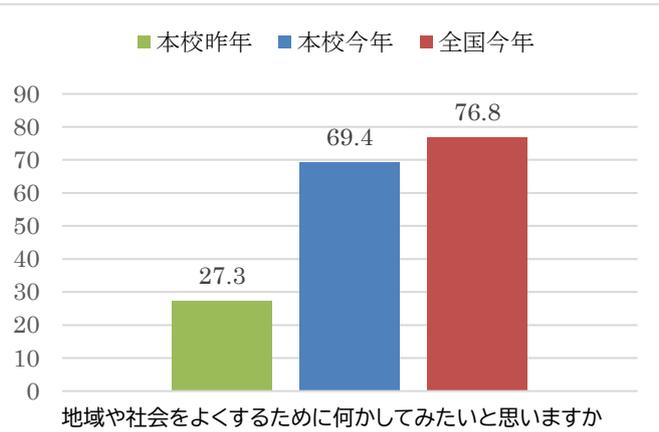
<今後に向けて、課題と思われる事項について>



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

全国の児童に比べて、学習の計画を立てることを難しく感じている児童が多いようです。授業の時間を通して、計画を立てて学習を進める練習をしていきます。お家でも、家庭学習の手引き等を参考にして、取り組んでください。

また、1人1台タブレット端末のタブレットドリル等も家庭で積極的に活用し、学習を進めてください。



コミュニティ・スクールの導入により、地域や社会をよくしたいという気持ちは、上昇傾向にあります。西小の児童の「何かしてみたい」というチャレンジ精神が育つように、今後もより一層、地域や社会に根付いた教育を進めてまいります。

4. 成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

【国語】

- ・漢字の反復練習を朝学や宿題、自主学習などを通して、意識的に行ってまいります。
- ・複数の資料から、情報を正確に読み取る活動を取り入れてまいります。
- ・自分の意見に根拠を持ち、自分の思いや考えを書く習慣をつけてまいります。
- ・朝学などの時間に、初見の文章を読み解く課題に取り組む等、文章の読み取りを意識した学習を進めてまいります。
- ・よりよい話し合いができるように、相手の意見を聞いて、相手の意見とのつながりを意識し、自分の考えを話すことができる学習を多く取り入れてまいります。

【算数】

- ・答えを求めるだけでなく、答えに至るまでの式や図の意味を話し合う場面を多く取り入れ、結果までの過程を大切に、確かな意味理解ができるようにしてまいります。
- ・生活の中で活用できる場面を意識的に取り上げていき、日常生活の事象において解決できる力をつけてまいります。
- ・朝学の時間などを使って、四則計算を反復練習し、計算力をつけてまいります。

【教職員の授業力向上】

昨年度に引き続き、今年度も「学び合う子どもの姿をめざして～根拠をもって、思いや考えを書く力を育てる～」というテーマのもと、有識者を講師に招き、教職員の授業力向上に努めています。年間3回の校内研究授業を行うとともに、書く力を向上させ、子どもが自分の意見を持ち、自信をもって友だち同士で伝え合うことができる場面を設定してまいります。

【ICTの活用】

今回の全国学力・学習状況調査では、無解答率が低く、良好な結果でした。これまで、1人1台端末をはじめ、ICT機器の活用を進めてきた成果が表れています。朝の学習や宿題等で、タブレットドリルを用いて、漢字や計算問題の反復練習や言語理解の充実に取り組んできました。今後も子どもたち一人ひとりの学習の状況を的確に把握し、個人の習熟度に応じてICT機器を有効に活用することに努めてまいります。

5. 保護者・児童・生徒のみなさんへ

【児童のみなさんへ】

登校班やわくわく活動、委員会活動など、あらゆる場面で責任をもってリーダーシップを発揮しているみなさん。「人の役に立つ人間になりたい。」「学校に行くのが楽しい。」と考えている人がたくさんいることを、うれしく思います。また、「国語が好き」「算数が好き」と、学習に対して前向きにとらえ、わかるまで先生や友だちの話や意見を聞いて、授業中、集中して取り組んでいることも、素晴らしいことだと思いました。

落ち着いた教室の雰囲気、みんなでづくり、しっかりと自分の考えをもち、違う考えの友だちとも意見交流しながら、学習を積み重ねてきた成果が、今回の全国学力・学習状況調査にも良い結果として、表れているのだと思います。

ただ、家庭学習の時間やタブレットの活用については、課題が見られました。教科の学習に意欲的に取り組み、基礎的な学力を身につけたわけですから、それらを生かして、学びを広げていく総合的な学習の時間を充実させ学びを深めるおもしろさを感じられるようにしたり、タブレットを活用し、学びを広げるおもしろさを味わえるようにしたりと、「学校が楽しくない。」と感じている人たちにとっても、魅力ある学校となるように、授業を工夫していきたいと思います。

これからも、何事にも積極的に挑戦できるよさを大切に、人とのつながりをつくり、自分の周りの人の気持ちを思いやることができる人に成長していきましょう。

【保護者のみなさんへ】

児童質問紙から、家庭での基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）をしっかりつけていただいていることがよくわかりました。また、「自分の地域についてもっと知ってもらいたい。」と考えている子どもたちがたくさんいることは、ご家庭が地域と密着し、地域社会を大切にされていることの表れだと感じました。その反面、地域や社会をよくするために何かしてみたいと考えることに課題がありました。本校は、コミュニティ・スクール2年目になります。地域の方の日ごろの姿と接することで、子どもたちの心が豊かに育まれていくと考えています。この取組みをより充実させ、地域とともにある学校づくりを進めていくことを推進していきます。

今後もぜひ、「お子様のきらりと光る良さ」をお話していただき、子どもたちの成長を豊かなものにしていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。